

中華人民共和国（以下単に「中国」といいます。）の国家統計局は、2020年2月28日に、同国の2019年における国家経済及び社会発展に関する統計的な公式発表（予備的な統計として）を行いました。その中の「XII. Resources, Environment and Emergency Management（訳者注：XII 資源、環境及び緊急事態管理）」に、2019年における死亡労働災害に関する一定の統計資料があります。そこで、本稿では、これに関連する英語原文を日本語に仮訳したものを対訳の形式で掲げてあります。

それによりますと、

「(2019年の)中国の労働災害による死亡者の合計は29,519人に達しました。工業（原典では *Industrial*）、鉱業（原典では *mining*）及び商業部門（原典では *commercial*）の企業における労働災害は、被雇用者100,000人当たりの死亡労働災害の発生率1.474をもたらしており、2018年と比較して4.7%減少しました。また、石炭鉱業における石炭生産100万トン当たりの死亡者数は、0.083人で、10.8%減少しました。車両10,000台当たりの道路交通死亡者は、1.80人で、6.7%減少しました。」

その詳細については、次に掲げるこの資料の英語原文—日本語仮訳並びにこの資料作成者が作成した中国の死亡労働災害発生率と日本、アメリカ、英国、ドイツ及びフランスの死亡労働災害発生率との比較を試算した[V-1 参考：致命的な労働災害（つまり死亡災害）の発生率についての日本、アメリカ合衆国並びにEU加盟国合計]及びそのうち英国、フランス及びドイツとの国別比較並びにこれらのデータと中国の2018年の被雇用者10万人当たりの労働災害死亡者数（発生率）との比較]及び

[V-2 参考 中国、日本、アメリカ合衆国、英国、ドイツ及びフランスについての2014年～2018年（関連するデータがある場合は2019年まで）までの死亡労働災害についての名目GDP10億ドル当たりの死亡件数の国際比較（試算値）]を参照して下さい。

2020年4月

中央労働災害防止協会技術支援部

国際課

（本資料の作成者注：以下において、イタリック体の部分は、本資料作成者が文意を補足するために加えたものです。）

[ I 原典の所在 ] : [http://www.stats.gov.cn/english/PressRelease/202002/t20200228\\_1728917.html](http://www.stats.gov.cn/english/PressRelease/202002/t20200228_1728917.html)

[II 原典の名称] : Statistical Communiqué of the People's Republic of China on the 2019 National Economic and Social Development,  
National Bureau of Statistics of China2020-02-28 09:3

2020-02-28 14:39

### [III 著作権 (copyright) について]

中国国家统计局では、同局が発表した統計資料の利用に関しては、同局のホームページで、Copyright (著作権) に関して次のとおりコメントしており、一定のもの（同局が特に指定したもの等）を除いて、そのリプリント及び引用については、このネットワークで公表されている内容（統計）が善意で使用され、その資料の出所が明示され、その当初の意図が捻じ曲げられず、変更されないならば、歓迎されるとしている。

#### Copyright

National Bureau of Statistics of China2007-01-04 13:57

1. The copyright of all contents of this network belongs to the web site of the National Bureau of Statistics of the People's Republic of China unless as other indicated.
2. Contents of this network are welcome to be reprinted or quoted, but the following contents are excluded:
  - A. Other links of this network;
  - B. Contents that have been declared not to be reprinted or not to be reprinted without permission;
  - C. Contents without signature of current network or works of others quoted or reprinted by our network;
  - D. Particular figures, signs, page styles, page layouts and programs of this network;
  - E. Contents of this network that can be known only with special authorization or with the qualification as a registered subscriber;
  - F. Other contents that are forbidden by law or regarded to be not proper for being reprinted by our network.
3. The contents of this network can but be used as free information through reprint or quotation reasonably and in good will, such as news or data, and the original intention is not allowed to be distorted or modified.
4. The contents of this network are not allowed to be used for following activities through reprint or quotation:

- A. Damaging the interests of this network and other people;
  - B. Any offence against the law;
  - C. Any behavior that may damage public orders and customs;
  - D. Making bold to agree others to reprint or quote contents of this network;
5. For the reprint or quotation of any content of this network, "Quoted from the web site of the National Bureau of Statistics of the People's Republic of China" or "China Statistical Information Network" must be clearly indicated, and the website, namely [www.stats.gov.cn](http://www.stats.gov.cn), should be made clear.
6. Please pay the author royalty as required for reprint or quotation of any signed article in this network.
7. For improper reprint or quotation of contest of this network, which results in civil disputes, administrative affairs or other losses, our network shall assume no responsibility.
8. Our network is entitled to tracking out the legal obligations of those who fail to observe this declaration and those who violate the law and use the contents of this network for malicious objectives.

#### [IV 原資料の英語原文—日本語仮訳]

英語原文	日本語仮訳
<b>XII. Resources, Environment and Emergency Management</b>	<b>XII 資源、環境及び緊急事態管理</b>
The death toll due to work accidents amounted to 29,519 people. Work accidents in industrial, mining and commercial companies caused 1.474 deaths out of every 100 thousand employees, down by 4.7 percent over that of 2018. The death toll for one million tons of coal produced in coalmines was 0.083 people, down by 10.8 percent. The road traffic death toll per 10 thousand vehicles was 1.80 people, down by 6.7 percent.	(2019年の)中国の労働災害による死亡者の合計は29,519人に達しました。工業(原典では <i>Industrial</i> )、鉱業(原典では <i>mining</i> )及び商業部門(原典では <i>commercial</i> )の企業における労働災害は、被雇用者100,000人当たりの死亡労働災害の発生率1.474をもたらしており、2018年と比較して4.7%減少しました。また、石炭鉱業における石炭生産100万トン当たりの死亡者数は、0.083人で、10.8%減少しました。車両10,000台当たりの道路交通死亡者は、1.80人で、6.7%減少しました。
Notes : (資料作成者注 : 抜粋)	原典の注 : (資料作成者注 : 抜粋)

<p>[1] All figures in this Communiqué are preliminary statistics. Statistics in this Communiqué do not include Hong Kong SAR, Macao SAR and Taiwan Province. Due to the rounding-off reasons, the subentries may not add up to the aggregate totals.</p>	<p>[1] この公式発表におけるすべての数字は、予備的な統計です。この公式発表では、香港特別行政区、マカオ特別行政区及び台湾省は、含んでいません。数字の丸め方の理由で、小項目の数字を合計しても総計にならないことがあります。</p>
--	--

[V-1 参考：致命的な労働災害（つまり死亡災害）の発生率についての日本、アメリカ合衆国並びに EU 加盟国合計]及びそのうち英国、フランス及びドイツとの国別比較並びにこれらのデータと中国の2018年の被雇用者10万人当たりの労働災害死亡者数（発生率）との比較]

(資料作成者解説)

次の表1及び2に中国、日本、アメリカ合衆国、英国、ドイツ及びフランスの相当するデータを掲げました。これによると、中国の2019年における労働者10万人当たりの発生率1.474（2018年では1.574）は、直近の日本（2018年は、1.69）、アメリカ合衆国（2017年は、3.5（公務員を含む全産業。民間産業では3.7）及びフランス（2017年は、2.64）よりは低く、英国（2017年は、0.88）及びドイツ（2017年は、0.89）よりは高くなっています。また、次の表3には日本の労働者10万人当たりの労働災害死亡率（2013～2018）の試算結果を示しました。

表1 中国の関連するデータ

国別	統計の対象年 (歴年)	労働災害統計の指標の種類及び関係するデータ	左欄の指標に関する留意事項	資料出所
中国	2019年	<p>(再掲) (2019年の) 中国の労働災害による死亡者の合計は29,519人に達しました。工業(原典では <i>Industrial</i>)、鉱業(原典では <i>mining</i>) 及び商業部門(原典では <i>commercial</i>) の企業における労働災害は、被雇用者100,000人当たりの死亡労働災害の発生率1.474をもたらしており、2018年と比較して4.7%減少しました。また、石炭鉱業における石炭生産100万トン当たりの死亡者数は、0.083人で、10.8%減少しました。車両10,000台当たり</p>		

	<p>の道路交通死亡者は、1.80人で、6.7%減少しました。</p> <p>(資料作成者注：Statistical Communiqué of the People's Republic of China on the 2019 National Economic and Social Development 中の「I. General Outlook」における中国の2019年のGDPに関する記述。</p> <p>I. General Outlook</p> <p>According to preliminary estimation, the gross domestic product (GDP)[2] in 2019 was 99,086.5 billion yuan, up by 6.1 percent over the previous year.</p> <p>(上記の日本語仮訳：I 一般概況</p> <p>予備的な計算では、2019年のGDPは、90,086.5億元(米ドル換算(1ドル=約7.16元(2019年8月末, 中国国家外国為替管理局)として)で、12582.0億米ドル(≒1258.2billion米ドル)で、前年と比べて6.1%増であった。)</p>		
2018年	<p>(2018年の)中国の労働災害による死亡者の合計は34,046人に達した。工業(原典ではIndustrial)、鉱業(原典ではmining)及び商業部門(原典ではcommercial)の企業における労働災害は、被雇用者100,000人当たりの死亡労働災害の発生率1.547をもたらしており、2017年と比較して5.6%減少した。石炭鉱業における石炭生産100万トン当たりの死亡者数は、0.093 0.106人で、12.3%減少した。車両10,000台当たりの道路交通死亡者は、1.93人で、6.3%減少した。</p> <p>(資料作成者注：Statistical Communiqué of the People's Republic of China on the 2018 National Economic and Social Development 中の「I. General Outlook」における中国の2018年のGDPに関する記述。</p> <p>According to preliminary estimation, the gross domestic product (GDP)[2]in 2018 was 90,030.9 billion yuan, up by 6.6 percent over the previous year.</p>		Statistical Communiqué of the People's Republic of China on the 2018 National Economic and Social Development

	(上記の日本語仮訳：予備的な計算では、2018年のGDPは、90,030.9億元(米ドル換算(1ドル=約6.9元(2018年10月末、中国国家外国為替管理局)として)で、130,478.0億米ドル(=13,047.8billion米ドル)で、前年と比べて6.6%増であった。)		
2017年	<p>2017年の中国の労働災害による死亡者の合計は37,852人に達した。工業(原典ではINDUSTRY)、鉱業(原典ではmining)及び商業部門(原典ではcommercial)の企業における労働災害は、被雇用者100,000人当たりの死亡労働災害の発生率1.639をもたらしており、2016年と比較して3.7%減少した。</p> <p>According to preliminary accounting, the gross domestic product (GDP)[2] in 2017 was 82,712.2 billion yuan, up by 6.9 percent over the previous year.</p> <p>(上記の日本語仮訳：予備的な計算では、2017年のGDPは、827,122億元(米ドル換算(1ドル≒6.34元として)で、130,461億ドル(=13,046.billion米ドル)で、前年と比べて6.9%増であった。)</p>		Statistical Communiqué of the People's Republic of China on the 2017 National Economic and Social Development

表2 致死的な労働災害(つまり死亡災害)の発生率についての日本、アメリカ合衆国並びにEU加盟諸国全体、これらのうち英国、フランス及びドイツとの標準化されていない(実際の)発生率(Eurostatではこれらのデータは、いずれも標準化されていないものです。)についての国別(地域別)比較

国別	統計の対象年(年度)	労働災害統計の指標の種類及び関係するデータ	左欄の指標に関する留意事項	資料出所								
日本	2013年～2018年	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>労働者10万人当たりの死亡災害発生数(試算の方法は、別記を参照されたい。)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2013</td> <td>2.07</td> </tr> <tr> <td>2014</td> <td>2.11</td> </tr> <tr> <td>2015</td> <td>1.92</td> </tr> </tbody> </table>	年	労働者10万人当たりの死亡災害発生数(試算の方法は、別記を参照されたい。)	2013	2.07	2014	2.11	2015	1.92	<ul style="list-style-type: none"> <li>労働安全衛生法に基づく報告義務のない公務従事者は、除外されています。</li> <li>道路交通災害を含みます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>労働者死傷病報告、総務省労働力調査に基づく厚生労働省公表資料</li> <li>計算の基礎データについては別記を参照して下さい。</li> </ul>
年	労働者10万人当たりの死亡災害発生数(試算の方法は、別記を参照されたい。)											
2013	2.07											
2014	2.11											
2015	1.92											

		<table border="1"> <tr> <td>2016</td> <td>1.80</td> </tr> <tr> <td>2017</td> <td>1.87</td> </tr> <tr> <td>2018</td> <td>1.69</td> </tr> </table>	2016	1.80	2017	1.87	2018	1.69		<p>す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 通勤災害は除外されています。</li> </ul>									
2016	1.80																		
2017	1.87																		
2018	1.69																		
アメリカ合衆国	2012年～2017年	<table border="1"> <tr> <td>年</td> <td>フルタイム等価労働者換算（equivalent full-time workers：以下同じ。）10万人当たり。下欄で別に明示しない限り公務従事者等を含む全労働者についての発生率である。</td> </tr> <tr> <td>2012</td> <td>3.4 そのうち、民間産業については、3.6</td> </tr> <tr> <td>2013</td> <td>3.3 そのうち、民間産業については、3.5</td> </tr> <tr> <td>2014</td> <td>3.4 そのうち、民間産業については、3.7</td> </tr> <tr> <td>2015</td> <td>3.4 そのうち、民間産業については、3.6</td> </tr> <tr> <td>2016</td> <td>3.6 そのうち、民間産業については、3.8</td> </tr> <tr> <td>2017</td> <td>3.5 そのうち、民間産業については、3.7</td> </tr> </table>	年	フルタイム等価労働者換算（equivalent full-time workers：以下同じ。）10万人当たり。下欄で別に明示しない限り公務従事者等を含む全労働者についての発生率である。	2012	3.4 そのうち、民間産業については、3.6	2013	3.3 そのうち、民間産業については、3.5	2014	3.4 そのうち、民間産業については、3.7	2015	3.4 そのうち、民間産業については、3.6	2016	3.6 そのうち、民間産業については、3.8	2017	3.5 そのうち、民間産業については、3.7		<ul style="list-style-type: none"> <li>● いずれも道路交通災害を含みます。</li> <li>● 通勤災害は除外されています。</li> </ul>	<p>News release, Bureau of labor Statistics, U.S. DEPARTMENT OF LABOR NATIONAL CENSUS OF FATAL OCCUPATIONAL INJURIES IN 2017</p>
年	フルタイム等価労働者換算（equivalent full-time workers：以下同じ。）10万人当たり。下欄で別に明示しない限り公務従事者等を含む全労働者についての発生率である。																		
2012	3.4 そのうち、民間産業については、3.6																		
2013	3.3 そのうち、民間産業については、3.5																		
2014	3.4 そのうち、民間産業については、3.7																		
2015	3.4 そのうち、民間産業については、3.6																		
2016	3.6 そのうち、民間産業については、3.8																		
2017	3.5 そのうち、民間産業については、3.7																		
EU加盟28カ国全体	2014年 2015年 2016年	1.83 1.83 1.69		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 通勤災害は、除外されています。</li> </ul>	<p>Fatal Accidents at work by NACE Rev. 2 activity : Last update: 2020年2月24日</p>														

	2017年	1.62		Source of data: Eurostat
英国	2014年	0.81		
	2015年	0.83		
	2016年	0.8		
	2017年	0.88		
ドイツ	2014年	1.15		
	2015年	1.02		
	2016年	0.96		
	2017年	0.89		
フランス	2014年	2.7 (時系列上の不連続がある。)		
	2015年	2.57		
	2016年	2.74		
	2017年	2.64 (時系列上の不連続がある。)		

表3 日本の労働者10万人当たりの労働災害死亡率(2013~2018)の試算結果

(資料作成者注:日本の労働者10万人当たりの労働災害死亡率(2013~2018)の試算結果(雇用者数については総務省統計局の最新版のデータによります。)

年	死亡者数 (A) (厚生労働省労働基準局)	該当する年の雇用者数合計(万人。資料出所:総務省統計局)(B) 毎年4月のデータ	左欄のうち、役員を除く雇用者数 (b)	Bのうち、公務及び国防・義務的社会保障事業(国際分類のOに該当する)従事者数(単位万人)(C) (各年の平均)	D=b-C (単位万人) (公務及び国防・義務的社会保障事業従事者(C)については、役員はいないものと想定しました。)	労働者10万人当たりの死亡災害発生数(E)=((A)÷(D)×10)
2013	1,030	5,558	5,213	229	4,984	2.07
2014	1,057	5,603	5,256	235	5,021	2.11
2015	972	5,653	5,303	231	5,072	1.92



2016	928	5,741	5,391	231	5,160	1.80
2017	978	5,810	5,460	229	5,231	1.87
2018	909	5,927	5,596	232	5,364	1.69

#### 資料出所

- 「死亡者数（A）（厚生労働省労働基準局）」：職場のあんぜんサイト <http://anzeninfo.mhlw.go.jp/user/anzen/tok/anst00.htm> から抜粋した。
- 「該当する年の雇用者数合計（万人。資料出所：総務省統計局）（B）」及び「左欄のうち、役員を除く雇用者数（b）」：<http://www.stat.go.jp/data/roudou/longtime/03roudou.html> における「長期時系列表 10（1）年齢階級（10 歳階級）別就業者数及び年齢階級（10 歳階級）、雇用形態別雇用者数 - 全国」<http://www.stat.go.jp/data/roudou/longtime/zuhyou/lt52.xls> から抜粋した。
- 「雇用者のうち、公務及び国防・義務的社会保障事業（国際分類の O に相当する。）従事者数（単位万人）（C）（各年の平均）」：<http://www.stat.go.jp/data/roudou/longtime/03roudou.html> における「長期時系列表 5（4）産業（第 12・13 回改定分類）別雇用者数 - 全国」<http://www.stat.go.jp/data/roudou/longtime/zuhyou/lt05-06.xls> から抜粋した（最新版のデータによる。）。

#### [V-2 参考 中国、日本、アメリカ合衆国、英国、ドイツ及びフランスについての 2014 年～2018 年（関連するデータがある場合は 2019 年まで）までの死亡働災害についての名目 GDP10 億ドル当たりの死亡件数の国際比較（試算値）]

##### （資料作成者解説）

中国国家統計局は、2016 年における「GDP1 億元当たり」の労働災害死亡者数を公表したことがあるので、ここでは、この資料の作成者が関連各国（中国、日本、アメリカ合衆国、英国、ドイツ、フランス）の公的統計を当たって、これらの指標を「GDP10 億米ドル当たり」に換算し、次の表 4 のとおり、関連するデータが得られた年の関係各国の名目 GDP10 億米ドル当たりの労働災害死亡者数（つまり発生率）について、これらの国別の比較を試算しました。

その結果では、中国の 2019 年における工業（原典では industry）、鉱業（原典では mining）及び商業部門（原典では commercial）の企業についての名目 GDP10 億米ドル当たりの労働災害死亡者数 2.3 は、関係各国の直近する年における相当するデータ（ただし、日本、アメリカ合衆国、英国、ドイツ及びフランスについては原則として全産業のデータです。）との比較では日本（2018 年 0.18）の 12.8 倍、アメリカ（2018 年 0.20）の 11.5 倍、英国（2017 年 0.11）の 21.9 倍、ドイツ（2017 年 0.12）の 19.2 倍、フランス（2017 年 0.23）の 10.0 倍に相当しています。

表 4 関係各国の名目 GDP10 億米ドル当たりの労働災害死亡者数

国別	西暦年	労働災害死亡者数 (A)	名目 GDP：単位 10 億米ドル(B) (内閣府 GDP の 国際比較～2017 年までによる。)	名目 GDP10 億米ドル単位 の労働災害死 亡者数 (C)=(A)÷(B)	左欄の指標に関する留意事項	備考
中国	2014	68,061	10,438.5	6.52		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 中国の労働災害死亡者数については、2016 年は製造業のみで暫定値である。</li> <li>● 2017 年以降は工業（原典では industry）、鉱業（原典では mining）及び商業部門（原典では commercial）の企業における労働災害のみで暫定値である。</li> <li>● 2019 年の GDP については、「内閣府 GDP の国際比較のデータ」がなかったため、2019 年 8 月末における中国国家外国為替管理局公表の 90,086.5 億元を米ドルに換算（1 ドル＝約 7.16 元として）して算出している。</li> </ul>
	2015	66,182	11,015.6	6.0		
	2016	43,062	11,138.0	3.9		
	2017	37,852	12,143.6	3.1		
	2018	34,046	13,894.9	2.5		
	2019	29,519	12,582.0	2.3		
日本	2014	1,057	4854.8	0.22	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 労働安全衛生法に基づく報告義務のない公務従事者は、除外されている。</li> <li>● 道路交通災害を含む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 死亡者数について厚生労働省労働基準局安全課が公表しているものである。</li> </ul>
	2015	972	4390.0	0.22		
	2016	928	4920.6	0.19		
	2017	978	4867.3	0.20		
	2018	909	4956.4	0.18		
アメリカ	2014	3,728	17527.3	0.21	<ul style="list-style-type: none"> <li>● いずれも道路交通災害を含む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 輸送事故並びに民間部門及び政府部門（連邦政府、州政府及び地方自治体）に係るものを含む。</li> </ul>
	2015	3,751	18224.8	0.21		
	2016	4,098	18715.0	0.22		
	2017	4,069	19519.4	0.21		
	2018	4,178	20580.2	0.20		
英国	2014	239	3063.8	0.08	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 通勤災害は、除外されて</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 英国、ドイツ及びフランスの労</li> </ul>

	2015 2016 2017 2018	260 252 280 (不明)	2928.6 2694.3 2666.2 2855.3	0.09 0.09 0.11 (不明)	<p>いる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 英国の HSE が公表する統計では、道路交通災害は除外されているが、左欄のデータに係る European Statistics on Accidents at Work (略称: ESAW)では対象に含まれている。</li> </ul>	<p>働災害死亡者数 (A) については、Fatal Accidents at work by NACE Rev. 2 activity [hsw_n2_02] Last update: 06-02-2019 Eurostat による。</p>
ドイツ	2014 2015 2016 2017 2017	527 477 450 430 (不明)	3893.9 3380.5 3466.8 3656.7 3947.6	0.14 0.14 0.13 0.12 (不明)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 通勤災害は、除外されている。</li> </ul>	同上
フランス	2014  2015 2016  2017  2018	589(時系列上の不連続がある。)  595 595  585(時系列上の不連続がある。) (不明)	2852.2  2438.2 2471.3  2586.3  2777.5	0.21  0.24 0.24  0.23  (不明)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 通勤災害は、除外されている。</li> </ul>	同上。

資料出所：

1. 名目 GDP については、「内閣府 GDP の国際比較」(別記参照)による。ただし、中国の 2019 の GDP については 2019 年 8 月末における中国国家外国為替管理局公表の 90,086.5 億元を米ドルに換算 (1 ドル=約 7.16 元として) して算出している(再掲)。
2. 英国、ドイツ及びフランスの労働災害死亡者数については、Eurostat が 2020 年 2 月 24 日に公表したデータによる (再掲)。

(別記)

内閣府 GDP の国際比較 :

[https://www.esri.cao.go.jp/jp/sna/data/data\\_list/kakuhou/files/h30/sankou/pdf/kokusaihipaku\\_20191226.pdf#search=%27%E5%86%85%E9%96%A3%E5%BA%9CGDP%E3%81%AE%E5%9B%BD%E9%9A%9B%E6%AF%94%E8%BC%83%27](https://www.esri.cao.go.jp/jp/sna/data/data_list/kakuhou/files/h30/sankou/pdf/kokusaihipaku_20191226.pdf#search=%27%E5%86%85%E9%96%A3%E5%BA%9CGDP%E3%81%AE%E5%9B%BD%E9%9A%9B%E6%AF%94%E8%BC%83%27)

## 6. GDPの国際比較

### (1) 主要国の名目GDP

我が国の名目GDPは、平成30（2018）暦年には4兆9,564億ドルとなり、世界のGDPに占める比率は5.7%となった。

	平成 17暦年 (2005)	平成 18暦年 (2006)	平成 19暦年 (2007)	平成 20暦年 (2008)	平成 21暦年 (2009)	平成 22暦年 (2010)	平成 23暦年 (2011)	平成 24暦年 (2012)	平成 25暦年 (2013)	平成 26暦年 (2014)	平成 27暦年 (2015)	平成 28暦年 (2016)	平成 29暦年 (2017)	平成 30暦年 (2018)
アメリカ (10億ドル) (世界に占める比率、%)	13,036.6 27.4	13,814.6 26.8	14,451.9 24.9	14,712.8 23.1	14,448.9 23.9	14,992.1 22.6	15,542.6 21.1	16,197.0 21.6	16,784.9 21.7	17,527.3 22.1	18,224.8 24.3	18,715.0 24.6	19,519.4 24.1	20,580.2 23.9
中国 (10億ドル) (世界に占める比率、%)	2,286.0 4.8	2,752.1 5.3	3,550.3 6.1	4,594.3 7.2	5,101.7 8.4	6,087.2 9.2	7,551.5 10.3	8,532.2 11.4	9,570.5 12.4	10,438.5 13.2	11,015.6 14.7	11,138.0 14.6	12,143.6 15.0	13,894.9 16.1
日本 (10億ドル) (世界に占める比率、%)	4,758.1 10.0	4,530.1 8.8	4,515.1 7.8	5,037.5 7.9	5,233.2 8.7	5,700.2 8.6	6,157.2 8.4	6,201.8 8.3	5,154.1 6.7	4,854.8 6.1	4,390.0 5.9	4,920.6 6.5	4,867.3 6.0	4,956.4 5.7
ドイツ (10億ドル) (世界に占める比率、%)	2,845.7 6.0	2,992.0 5.8	3,421.1 5.9	3,730.2 5.9	3,397.6 5.6	3,396.4 5.1	3,744.4 5.1	3,527.3 4.7	3,732.7 4.8	3,883.9 4.9	3,360.5 4.5	3,466.8 4.5	3,656.7 4.5	3,947.6 4.6
イギリス (10億ドル) (世界に占める比率、%)	2,538.7 5.3	2,713.8 5.3	3,101.1 5.3	2,922.8 4.6	2,410.8 4.0	2,475.2 3.7	2,659.3 3.6	2,704.9 3.6	2,786.0 3.6	3,063.8 3.9	2,928.6 3.9	2,694.3 3.5	2,666.2 3.3	2,855.3 3.3
フランス (10億ドル) (世界に占める比率、%)	2,196.1 4.6	2,318.5 4.5	2,657.1 4.6	2,918.5 4.6	2,690.1 4.5	2,642.6 4.0	2,861.4 3.9	2,683.8 3.6	2,811.1 3.6	2,852.2 3.6	2,438.2 3.3	2,471.3 3.2	2,586.3 3.2	2,777.5 3.2
インド (10億ドル) (世界に占める比率、%)	820.4 1.7	940.3 1.8	1,216.7 2.1	1,198.9 1.9	1,341.9 2.2	1,675.6 2.5	1,823.0 2.5	1,827.6 2.4	1,856.7 2.4	2,039.1 2.6	2,103.6 2.8	2,290.4 3.0	2,652.6 3.3	2,726.3 3.2
イタリア (10億ドル) (世界に占める比率、%)	1,857.5 3.9	1,947.8 3.8	2,210.2 3.8	2,398.9 3.8	2,191.1 3.6	2,134.0 3.2	2,292.0 3.1	2,087.1 2.8	2,141.3 2.8	2,159.1 2.7	1,835.9 2.4	1,875.6 2.5	1,957.0 2.4	2,083.9 2.4
ブラジル (10億ドル) (世界に占める比率、%)	891.6 1.9	1,107.6 2.2	1,397.1 2.4	1,695.8 2.7	1,667.0 2.8	2,208.9 3.3	2,616.2 3.6	2,465.2 3.3	2,472.8 3.2	2,456.0 3.1	1,802.2 2.4	1,796.3 2.4	2,053.6 2.5	1,868.6 2.2
カナダ (10億ドル) (世界に占める比率、%)	1,173.2 2.5	1,319.3 2.6	1,468.8 2.5	1,552.9 2.4	1,374.6 2.3	1,617.3 2.4	1,792.8 2.4	1,828.7 2.4	1,847.2 2.4	1,803.5 2.3	1,556.1 2.1	1,528.2 2.0	1,649.9 2.0	1,716.3 2.0
ロシア (10億ドル) (世界に占める比率、%)	764.0 1.6	989.9 1.9	1,299.7 2.2	1,660.8 2.6	1,222.6 2.0	1,524.9 2.3	2,051.7 2.8	2,210.3 2.9	2,297.1 3.0	2,060.0 2.6	1,363.6 1.8	1,282.7 1.7	1,578.6 1.9	1,657.6 1.9
韓国 (10億ドル) (世界に占める比率、%)	898.1 1.9	1,011.8 2.0	1,122.7 1.9	1,002.2 1.6	901.9 1.5	1,094.5 1.7	1,202.5 1.6	1,222.8 1.6	1,305.6 1.7	1,411.3 1.8	1,382.8 1.8	1,414.8 1.9	1,530.8 1.9	1,619.4 1.9
世界全体 (10億ドル)	47,517.0	51,509.6	58,091.8	63,613.0	60,422.9	66,199.7	73,535.5	75,115.2	77,184.1	79,330.1	74,935.4	76,230.5	81,039.3	86,203.8

(資料出所) 日本以外のOECD加盟国（上記のうち日本、ロシア、ブラジル、中国、インド以外の各国）：OECD "Annual National Accounts Database"

日本：経済社会総合研究所推計値

(円の対ドルレートは、東京市場インターバンク直物中心相場の各月中平均値の12か月単純平均値を利用。)

中国：中国統計年鑑2018（為替レートはIMF "International Financial Statistics"）

ロシア、ブラジル、インド：世界銀行 "World Development Indicators database"

世界全体：日本を除くOECD加盟35か国はOECD "Annual National Accounts Database"、日本及び中国は上記資料、その他の国は世界銀行 "World Development Indicators database" より作成。

(注) 中国は香港及びマカオを含まない

(参考) 平成29（2017）暦年における、円の対米ドルレートは112.2（円／ドル）（東京市場インターバンク直物中心相場の各月中平均値の12か月単純平均値）

平成30（2018）暦年における、円の対米ドルレートは110.4（円／ドル）（同上）